

「総合的な学習の時間」全体計画

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる長江っ子の育成

- 進んで学び、豊かに表現する子ども
- 生命を大切に、豊かな心を持った子ども
- 強い意志と実践力のあるたくましい子ども

保護者の願い

- 基礎基本の学力をつけてほしい。
- 粘り強く、夢や希望をもって頑張る子どもを育てたい。
- 人や地域を大切にすることを育てたい。
- しっかり運動をして体力を高めたい。

児童の実態

- 感性豊かで、物事にまじめに取り組む。
- 学び姿勢が積極的になり、個々の願いや思いが相手を意識して表現できる。
- 体験学習を好み、課題解決的な学習を展開することができる。

地域の実態

- 尾道市の中心部に位置し、文化財・史跡等が多く、教材の宝庫である。
- 地域に高齢者も多く学校との交流も活発である。
- 保護者、地域とも教育熱心で、学校に協力的である。

地域の願い

- あいさつがしっかりできる子、人や地域を大切にできる子を育てたい。
- 地域から学び、地域を愛する心を育ててほしい。
- 地域の将来を担う人材を育てたい。

総合的な学習の時間の目標

探究的な学習を通して、地域や人と「かかわり」ながら多面的に問題を追究する方法を身に付け、主体的、かつよりよく問題を解決する能力や協働的な態度を育てるとともに、自分の生活に生かしたり、これからの自分の生き方を考えたりすることができるようにする。

育てようとする資質や能力及び態度

評価の観点	中学年	高学年
活動への意欲	①身の回りの生活から、疑問を感じてとらえようとする。 ②疑問・課題・やりたいことを見付け解決しようとする。 ③自分なりの考えをもって粘り強く活動しようとする。	①身の回りの生活や社会から、疑問を感じてとらえようとする。 ②疑問・課題・やりたいことを自分から発見し、解決しようとする。 ③自分なりに考え、自分のよさを生かして活動しようとする。
学び方の習得	①解決の方法を見つける。見通しやめあてを持って追究する。資料や情報から、必要なものを選ぶ。 ②学習したことを工夫してまとめる。 ③自分らしさ、自分のよさを見つけ、わかりやすく表現する。 ④学習を振り返り、よさや課題に気づく。友達のよさに気づき、お互いに伝え合う。	①解決の方法を見つけたり、創り出したりする。解決への見通しをもって追究する。資料や情報から、必要なものを選び活用する。 ②学習したことを工夫してわかりやすくまとめる。 ③自分らしさ、自分のよさを生かし、工夫のある表現をする。 ④学習を振り返り、評価項目にそって評価する。友達のよさに気づき、次の活動に生かそうとする。
生き方の追究	①これからの生き方を考え、自分で考えて行動する。 ②相手にわかりやすく、場に応じて話す。友達の思いや考えを自分と比較しながら聞く。相手の思いや考えを大切に接する。	①場に応じて状況を判断し、行動する。社会の一員としての自分の生き方を考え行動する。 ②目的や意図に応じて話す。友達の思いや考えを自分と比較しながら聞き、意見を述べる。自分と異なる意見や立場を理解し、大切にしながら接する。

各学年の内容

観点	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
学習課題	「長江のたからもの」 ～パートⅠ「長江の自まんを見つけよう」～ ～パートⅡ「弟子入り体験をしよう」～ ～パートⅢ「地域交流会を開こう」～	「アイ・ラブ尾道」 ～布野小学校との交流～ 「尾道再発見」 ～日本遺産に認定された我がふるさと～	「尾道観光ガイドをしよう」 「能・しの笛」 「『長江通り』原点回帰！」 ～わたしたちが発信する新たな日本遺産～	「生き方を学ぶ」 ～地域に学び地域に生きる～ 「日本の伝統文化にふれよう」
学習対象	主となる「かかわり」 ○尾道の住民 ○尾道の寺社 ○尾道の行事	主となる「かかわり」 ○尾道の寺社・公園・さくら ○尾道の住民、先人 ○さくら保護に携わる人々 ○三次市布野町の自然、歌人	主となる「かかわり」 ○尾道の住民、自然 ○尾道の寺社 ○伝統文化を受け継ぐ人	主となる「かかわり」 ○尾道の伝統文化 ○尾道の住民（お互い様の活動） ○伝統文化を受け継ぐ人
学習事項	○郷土を愛する地域の人々の思い ○地域の人々の努力や工夫 ○地域から学んだことを地域へ返そうとする心	○郷土を愛し守っている地域の人々の思いや願い ○さくらの歴史や人々の努力 ○地域から学んだことを地域へ返そうとする心	○郷土を愛し、よさを広げようとしている地域の人々の思いや願い ○地域の歴史や人々の努力 ○伝統文化を受け継ぐ心 ○地域から学んだことを地域へ返そうとする心	○郷土を愛し伝統文化を伝えようとしている地域の人々の思いや願い ○文化の歴史や人々の努力 ○伝統文化を受け継ぐ心 ○地域から学んだことを地域へ返そうとする心

主となる学習活動

- 商店街への弟子入り(3年)
- 布野小学校との交流(4年)
- 伝統文化(しの笛・能)(5年)
- 郷土から学ぶ(6年)

各教科との関連

- 主として
- 国語「話す聞く」「書く」「読む」
- 社会「資料活用」「思考判断」
- 理科「技能表現」「知識理解」等
- ※詳細は別業(指導計画一覧表)参照

指導体制

- 校内の職員とのTT・連携
- 地域からのゲストティーチャーの活用
- 他校との連携

地域との連携

- しの笛、能、茶道、華道等の講師招聘
- 尾道市役所や寺社等の地域施設との連携
- 商店街、地域住民との連携、招聘

指導方法

- 地域での調査や取材活動
- 課題発見、調査、分類整理表現、ふりかえり等の活動
- 伝統文化や行事等の体験

道徳・特別活動との関連

- 道徳の時間では、主として
- 中学年は、1-(2)、2-(4)、3-(2)、4-(5)
- 高学年は、1-(2)、2-(5)、3-(2)、4-(7)
- 特別活動では、自主的・主体的に取り組み態度を育てる活動との関連を図る
- ※詳細は別業(指導計画一覧表)参照

学習の評価

- ポートフォリオによる評価
- 意識アンケート等による調査
- 保護者や地域などの外部評価

近隣の学校や他の校種等との連携

- 布野小学校との連携
- わたしのキャリアノートとの連携による中学校区内の連携・情報交換